

ニューイ・ブランシュ KYOTO 2023 メインプログラム
川俣 正「夢浮橋ワーク・イン・プログレス 2023」
開催報告

京都市と関西日仏学館が共催する現代アートの祭典「ニューイ・ブランシュ KYOTO」のメインプログラムの一つとして、「夢浮橋ワーク・イン・プログレス 2023」を開催しましたので、以下のとおり御報告いたします。

1 プロジェクトの内容

橋をテーマとしたインスタレーション作品「夢浮橋」の設置

丸太と番線による川俣正氏（美術作家）の作品。作品の構造は、「番線組」や「足場丸太」といった、宮大工が施工する寺社仏閣修繕の足場にも用いられる伝統的な技法により制作

2 公開期間

令和5年10月29日（日）※10月28日設営後から10月30日撤収まで一般公開
設営：10月27日（金）・28日（土）、撤収：10月30日（月）

3 会 場

七条大橋南側 鴨川河岸（下京区川端町・東山区一橋宮ノ内町）

4 鑑賞者数

延べ約800人

5 開催成果

本プロジェクトでは、世界的に有名な美術作家である川俣正氏による橋をテーマとしたインスタレーション作品を、京都の人々の生活風景に欠かせないシンボルである鴨川に設置した。高層の市営住宅や京都タワーといった会場付近の街並みに溶け込むように、河岸の橋のインスタレーション作品が佇むという風景を、記録写真を通して歴史に残すことができた。

また、文化庁の京都移転が実現し、京都市立芸術大学の京都駅東部エリアへの移転とも時期を合わせて、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンとして位置付けるこの場所を強く国内外に発信し、府市協力のもと、オール京都で取り組む現代アートプロジェクトとして、府民・市民をはじめ国内外の観光客にも現代アートに触れる機会を提供することができた。

開催に当たっては、地元や関係団体の方々に事前説明を実施。安全管理等についての確かな御指摘等頂きつつも、本プロジェクトを暖かく迎え入れ、作家の制作の意図を大いに尊重していただいた。

6 プロジェクト関連イベント

- ① 模型制作ワークショップ 「あなたが鴨川に橋をかけるなら Vol.2」
開催日：令和5年9月16日（土）
会場：京都市立美術工芸高等学校 実習室
内容：京都市立美術工芸高等学校と京都国際フランス学園の生徒たち13名が鴨川にかける橋を自由に構想し模型を制作した。
参加生徒数：13名
- ② 日仏学生交流 模型・パネル展示 「あなたが鴨川に橋をかけるなら Vol.2」
開催期間：令和5年9月30日（土）～10月29日（日）
会場：京都市立美術工芸高等学校 展示室等
内容：川俣正「夢浮橋」の模型と、日仏学生交流ワークショップの成果作品の展示及び川俣正による学生交流作品講評会
鑑賞者数：約200名
- ③ 鑑賞会・シンポジウム「京をつなぐ橋」
開催日：令和5年10月29日（日）
会場：京都市立美術工芸高等学校 テラス・マルチホール
内容：鑑賞会では川俣氏の解説を聞きながらテラスからや現地で作品を見学。シンポジウムではパブリックアートのプロジェクトの経験を持つアーティストやディレクターが自身の実績やプロジェクトを紹介し、今後のビジョンについて意見交換
参加者数：84名

7 写真

<設営の様子>





< 展示風景 >



右岸



左岸



両岸（日中）



両岸（夜間）



鑑賞会